

別紙1 助産実践能力習熟段階別 教育計画

	レベル 新人 卒後 1 年 (褥室)	レベル I 卒後 2-3 年 (分娩室・新生児治療室)	レベル II 卒後 4-6 年 (産婦人科外来・分娩室)	レベル III 卒後 7 年	レベル IV 卒後 10 年
到達目標*	1.指示、手順、ガイドに従い、安全確実に助産ケアができる	1.健康生活支援の援助のための知識・技術・態度を身につけ、安全確実に助産ケアができる 2.助産外来・について、その業務を理解できる 3.ハイリスク事例についての病態と対処が理解できる	1.助産過程を踏まえ個別的なケアができる 2.支援を受けながら、助産外来においてケアが提供できる 3.ローリスク/ハイリスクの判別および初期介入ができる	到達目標 1.入院期間を通じて、責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアを実践できる 2.助産外来において、個別性を配慮したケアを自律して提供できる 3.助産外来において、指導的な役割を実践できる 4.ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる	1.創造的な助産実践ができる 2.助産外来において、指導的な実践ができる 3.ローリスク/ハイリスク事例において、スタッフに対して教育的なかかわりができる
助産実践能力	プライマリー(妊娠・分娩・産期) ケース 3 例以上 妊娠期の健康診査 50 例以上 産褥期の健康診査 100 例以上 集団指導(沐浴・退院) 個別指導(退院指導)	分娩介助 50 件 新生児の健康診査 50 例以上 妊娠期の健康診査 50 例以上 プライマリー(妊娠・分娩・産期) ケース合計 10 例以上 外来業務 外来保健指導 母親学級の補助	分娩介助 合計 100 件以上 新生児の健康診査合計 100 例以上 妊娠期の健康診査合計 200 例以上 産褥期の健康診査合計 200 例以上 プライマリー(妊娠・分娩・産期) ケース合計 20 例以上 母親学級 助産外来(指導下)の実施	助産師ラダー レベルIII申請 助産外来の実施 思春期教育の見学	思春期教育の講師
助産師ラダー 必須研修 1-5 年で受講	NCPR A コース	必須研修受講 → CTG フィジカルアセスメント 輸液ポンプ 助産記録	必須研修終了	助産師ラダー レベルIII申請	
助産師ラダー ステップアップ研修 1-5 年で受講		ステップアップ研修受講 → 出血時の対応(看護協会・施設での勉強会) 倫理(看護協会・施設での勉強会) 助産師および後輩教育 (教育担当者研修・施設での勉強会) 学術集会参加 → (日本看護学会・母性衛生学会など) 5 年以内に参加	ステップアップ研修終了	助産師ラダー レベルIII申請	
リーダーシップ	メンバーシップ	メンバーシップ	リーダーシップ	チームにおけるリーダーシップ	産科病棟におけるリーダーシップ
赤十字キャリア開発ラダー	レベル I 申請		レベル II 申請	レベル III 申請	

組織横断的な活動実績を積んで、赤十字ラダーレベルIVへチャレンジ

* 新卒助産師研修ガイド P24